

甲賀広域行政組合消防本部からの情報を発信します！



緊急車両のサイレン音について



緊急車両が出動するときのサイレンの音は、実はそれぞれの用途（災害）に応じて使い分けていることをご存じでしょうか？今回は、その緊急車両である消防車と救急車のサイレン音の違いをご紹介します！！

火災

消防車が火災現場へ向かうときは、「ウ～」というサイレン音に加えて、「カン、カン、カン」という鐘の音を鳴らして走行しています。つまり、**この場合は火災の発生を意味します。**

「ウ～、ウ～、ウ～、カンカンカン♪」

火災以外

消防車が「救助」「救急支援」などの火災以外の現場へ向かうときは、「ウ～、ウ～、ウ～」というサイレン音だけを鳴らして走行します。

「ウ～、ウ～、ウ～♪」



救急

救急車が救急現場へ向かうときは、「ピ～ポ～、ピ～ポ～」というサイレン音を鳴らして走行します。住宅地を走行する際には、住民への騒音に配慮して少し低めの「ピ～ポ～、ピ～ポ～」を鳴らすことがあります。一方、交差点に進入する際などは、多くの人々に存在を知らし、注意を喚起するために、消防車と同じ高音の「ウ～、ウ～、ウ～」というサイレン音を「ピ～ポ～、ピ～ポ～」と同時に鳴らすこともあります。

なお、救急車が火災現場へ向かうときは、「ウ～、ウ～、ウ～」というサイレン音を「ピ～ポ～、ピ～ポ～」と同時に鳴らして走行します。

「ピ～ポ～、ピ～ポ～、(ウ～)♪」



住民の方から「サイレン音を鳴らさないで来てください」と言われることがよくありますが、緊急車両はサイレン音を鳴らして、かつ、赤色灯を点灯して走行しなければならないと法律で定められており、**サイレン音を鳴らさずに緊急走行（出動）することはできませんので、みなさんのご理解とご協力をお願いします。**

消防雑学 # 消防豆知識



消防ポンプ自動車（新信楽ポンプ1）



高規格救急自動車（新甲南救急1）



令和5年3月上旬、甲南消防署に配置する高規格救急自動車（甲南救急1）1台と、信楽消防署に配置する消防ポンプ自動車（信楽ポンプ1）1台をそれぞれ更新しました。

この新車両の運用により消防戦術の幅をさらに広げ、職員一同、住民の安心・安全を担うよう一層の努力をしております。

消防救助 技術指導 訓練開始

『助ける』を競う。
ツなげ、熱い魂。



甲賀広域行政組合消防本部では、令和5年3月20日(月)から令和5年6月に滋賀県消防学校(滋賀県東近江市)で開催される『第46回滋賀県消防救助技術指導会』に向けた訓練を開始しました。

この大会は、県内の消防救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を競い合う大会です。今年も、各消防署からの選抜隊員で結成された2つのチームが『障害突破』という訓練種目に出場できるよう、甲賀消防の持ち味である活気と勢いを前面に出しながら日々の訓練に励みます。

今年も熱い応援をよろしくお願います！

＃熱くなれ 甲賀消防 勢いと活気のある一本を

令和5年甲賀消防管内
災害発生状況(2月末現在)

| | |
|-----|-------|
| 火災 | 4件 |
| 救急 | 1079件 |
| 救助 | 17件 |
| その他 | 48件 |

～自動で119番通報を発信する機能について～

近年発売されたスマートフォンやスマートウォッチの中には、交通事故などにより強い衝撃を検知すると自動で119番へ発信する機能を備えたものがあります。万一、救急車などの必要がないのに自動的に119番通報がされてしまった場合は、電話を切らずに「救急車や消防車は必要ない」とお伝えください。詳しくは、総務省消防庁ウェブサイトをご覧ください。



総務省消防庁ウェブサイト

甲賀消防 Facebook

<https://www.facebook.com/kokashobo.119/>
※上記QRコードで簡単にアクセスできます。

Information
いろいろ情報板